

## 2018年度日韓空間情報フォーラム 開催報告

本フォーラムは、2009年に韓国ソウルで開催された第1回日韓レーザ計測シンポジウムに始まります。それ以降、2014年の第5回シンポジウム開催まで日本と韓国で交互に開催し、2015年には日韓情報交流会と称して東京で開催することになり、技術対象をMMSやUAV等の計測技術まで拡張し、両国の技術動向や国家施策等の情報交換を実施致しました。その後、さらに空間情報の役割と必要性を再認識し、広く空間情報産業の発展に拍車をかけるために、2017年度から「日韓空間情報フォーラム」と名称を変えることとしました。

今年は初めての開催から10年が経過し、今では本会議を通じての交流が日韓両国の空間情報技術のインキュベーション的役割の一部を担ってきたと確信しております。今後さらに空間情報産業の発展と技術者間のネットワークを構築する場として継続していければと願っております。

1. セミナー名：第2回日韓空間情報フォーラム in なにわ
2. 日 程：2018年10月25日（木）13：30～18：00
3. 場 所：株式会社アスコ大東 7F大会議室（大阪市中央区南本町3-6-14 イトゥビル）
4. 主 催：公益財団法人日本測量調査技術協会、ソウル市立大学、韓国空間情報産業協同組合
5. 主 管：公益財団法人日本測量調査技術協会 空中計測・マッピング部会、近畿ブロック委員会
6. 参加者：日本38名、韓国14名 計52名
7. 参加費：無料
8. 測量および設計CPD：4ポイント
9. プログラム：
  - ・開会挨拶、歓迎挨拶（日本）
  - ・基調講演：国土地理院の屋内3次元技術開発動向と自然災害対応について（国土地理院 笹川室長）
  - ・技術発表：日本（3編）、韓国（4編）\*発表者、タイトル等については当協会HPをご覧ください。
  - ・閉会挨拶（韓国）



フォーラム終了後の参加者全体写真撮影（株式会社アスコ大東会議室にて）